

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	松原学園運営事業	所管	保健福祉部 松原学園
			TEL 2948-3488

事業の目的 (何の為に 行うか)	日々保護者のもとから通園する知的障害児を支援し、自立に必要な知識と能力の発達を促進する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	所沢児童相談所で障害者受給者証を受けた、市内の就学年齢前の知的発達に遅れをもつ幼児。定員30名×12月。	対象とした数	360	人
		実際に 利用した数	337	人

活動の内容 (何を したか)	(内容) 学園に通園する知的障害児を対象として、食事の仕方、トイレの使用、着脱の仕方、からだの使い方、コミュニケーションのとり方、友達とのかかわり方など小集団の中で日常生活能力や社会性を高められるように指導する。								
	(実施方法) 日々の生活や遊びを通して、また、遠足や夏まつり、運動会など各種の行事について年間指導計画を立てて実施する中で、幼児の小集団において人との関わり方や基礎体力、行動力を身につけられるように指導する。また、保育士だけでなく専門的知識をもつ言語療法、作業療法や音楽療法の専門家・ボランティア、スイミング事業では保護者・児童館、幼児との交流については保育園や幼稚園など他の施設の協力を得ながら実施する。また、保護者に対して療育相談を受けたり、指導を行う。								
活動実績	項目名	園外行事実施回数	3	項目名	季節行事実施回数	34	項目名	カウンセリング実施回数	59
		単位	回		単位	回		単位	回

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	36,689	34,087	156,209	460.7

成果 (結果として どうなったか)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	保護者からみた学園行事に関する満足度	保護者へのアンケート調査による満足度の割合	95 単位 %	90 単位 %	94.7 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	現状どおり	* 増額	減額	終了	

今後の 方向性 (二次評価 の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし その他〔 〕 終了
	予算	現状どおり	増額	減額	終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	担当	部課コード	041100	ℓ	2948-3488
事業コード	保健福祉部	松原学園			
041101	松原学園運営事業				
開始年度	昭和 46 年度	→	終了年度	平成 年度	
課	グループ	保育・指導			

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市次世代育成支援行動計画 II ①(5)障害児施策の充実③施設利用サービスの充実			児童福祉法・所沢市立松原学園設置及び管理条例 同行規則
	関連・類似事業				
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	4節 障害者福祉 中柱 2 福祉施策の充実 小柱 (3)施設利用サービスの充実
		H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 28 位		実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード	ユニバーサルデザインの推進	コード	受益者負担の見直し	コード
	1311		3121		
	事業開始の背景	昭和44年当時、市の家庭相談室への相談内容の中で知的に遅れのある幼児に関する相談が多くあった。また、「心身障害児を守る会」からも会の結成以来通園施設の建設について強い要望があり、これらの点を解決すべく県内2番目の通園施設として設立された。			

③事業の内容	目的(何のために行くか、具体的に)	日々保護者のもとから通園する知的障害児を支援し、自立に必要な知識と能力の発達を促進する。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	所沢児童相談所で障害者受給者証を受けた、市内の就学年齢前の知的発達に遅れをもつ幼児。定員30名×12月。		利用数の考え方 月毎の在籍児数の合計。		
	対象数	単位	平成 18 年度	360 人	平成 19 年度	360 人
			平成 18 年度	335 人	平成 19 年度	337 人
			平成 19 年度			
	事業の具体的な内容及び実施方法 (内容) 学園に通園する知的障害児を対象として、食事の仕方、トイレの使用、着脱の仕方、からだの使い方、コミュニケーションのとり方、友達のかかり方など小集団の中で日常生活能力や社会性を高められるように指導する。 (実施方法) 日々の生活や遊びを通して、また、遠足や夏まつり、運動会など各種の行事について年間指導計画を立てて実施する中で、幼児の小集団において人との関わり方や基礎体力、行動力を身につけられるように指導する。また、保育士だけでなく専門的知識をもつ言語療法、作業療法や音楽療法の専門家・ボランティア、スイミング事業では保護者・児童館、幼児との交流については保育園や幼稚園など他の施設の協力を得ながら実施する。また、保護者に対して療育相談を受けたり、指導を行う。					

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	平成19年度中に改善した点	「松原学園のあり方検討会議」を開催し、協議を進め、「松原学園の建替えに関する基本方針」を決定した。			

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		32,376	36,689	37,200	
	決算 (見込み含む)		30,476	34,087		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (7.00 人) (人) (7.33 人)				
	正規職員人件費	13.00 人	119,600	13.00 人	122,122	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費		0		0	
	事業費合計		150,076		156,209	
	財源内訳	一般財源	91,210	103,911	37,200	
		国・県支出金	54,549	47,005		
		受益者負担金	2,845	3,710		
市債		0	0			
その他	1,472	1,583				
市民一人当たり(単位:円)		444.2		460.7		
利用数一単位あたり(単位:円)		447,988.1		463,528.2		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	園外行事実施回数	遠足・園外保育延べ実施回数	回	3	3	4	4
		季節行事実施回数	保護者参観、夏まつり、運動会、おたのしみ会、親子スイミング等の延べ実施回数	回	35	34	34	34
		カウンセリング実施回数	言語療法、作業療法、音楽療法、臨床心理相談実施回数	回	57	59	61	74
成果分析	保護者からみた学園行事に関する満足度	保護者へのアンケート調査による満足の割合	%	目標値	95	95	95	95
			%	実績	89	90	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
			%	達成率	93.7	94.7		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	・施設が老朽化していること及び建物・敷地が狭小である。 ・施設が市西部にあることから、バスによる園児の送迎が長時間になり園児に負担がかかっていると共に、公共交通機関の利便性が低い。保護者の参観が大変である。				
評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	松原学園の建設予定地の決定。 施設利用者一部負担金の市減免制度の見直し。	市有地等利用取得委員会に付議し、決定する。建て替えについて、市の総合計画実施計画に載せる。 平成20年7月以降の福祉サービスの利用者負担が法令改正されるため、それに合わせて利用者負担額減免の適正化を図る。	平成20年中 平成20年7月まで	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	今後についても、発達につまづきのある幼児とその保護者に対して、施設利用サービスを行うと共に、利用しやすい施設・療育相談の充実を図ることとする。				
評価日	平成20.4.30	記入者職氏名	松原学園長 加藤 市男		

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		評価理由	評価日				<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	施策の体系		施策の方向	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	2153
	基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます		
主要課題	1すべての子育てが家庭への支援			
施策の方向	5障害児施策の充実			